

西高校生レポート

西高農場は、地域とともに先端技術の研究・研修、憩い、自然とのふれあいの「場」として開放しています。



全校田植え

5月27日に全校生徒294名による田植えが行われました。この取り組みは、農作物に感謝するとともに、生徒各自の1年が稔り多いものとなることを祈念して開催されました。午前中には圃場の一部を使って、JA青年部北支部と西高が協力し、向能代小学校児童

67名が田植え体験を行いました。全校田植えでは先生から田植えの方法を教わり、学年



▲説明をする七尾校長先生

ごとにわかれて西高の圃場に植えていきました。農業に精通した生徒たちによって、みるみるうちに苗が植えられていき、晴天のもと緑の絨毯が完成しました。また、秋には全校生徒による稲刈りが予定されています。

ボランティア活動

5月28日に、1年生がプラントー班とクリーンアップ班にわか



れて、ボランティア活動を行いました。

プラントー

班は、芝童森の国道沿いに設置されているプラントーの雑草取りと花植え、及び周辺の清掃を実施しました。また、クリーンアップ班は学校周辺の道路等のゴミ拾いを行い、生徒達がデレキを使って作業を行いました。

この取り組みは毎年行われており、自分ができることや地域の活動への参加によって、ボランティア精神の育成を目指しています。



◀きれいに植えられた花々

鶏のNEWハーフ!?



西高校では今年度から、雄鶏の去勢処置による肉質の変化等の研究を行っています。5月30日に先生や生徒達がDVDによる学習を行いました後に、実際に去勢処置を行いました。参加した生徒達は戸惑いながらも、真剣な眼差しで作業を確認していました。雄鶏は肉質が硬いため、市場ではほとんど流通しません。去勢処置を行うことで肉質の向上を図る取り組みが、県内でも進んでいます。

